

2024年2月26日



学校法人
梅村学園



愛知銀行



中京銀行

報道関係者 各位

学校法人梅村学園
株式会社愛知銀行
株式会社中京銀行

学校法人梅村学園と株式会社愛知銀行及び株式会社中京銀行との 包括的連携に関する協定締結式 記者会見のお知らせ ～産学金連携による地域社会の振興と発展を目指して～

中京大学および中京大学附属中京高等学校を運営する学校法人梅村学園（本部：名古屋市、理事長：梅村清英、以下「梅村学園」）と株式会社愛知銀行（名古屋本社：名古屋市中区、取締役頭取：伊藤行記、以下「愛知銀行」）および株式会社中京銀行（名古屋本社：名古屋市中区、取締役頭取：小林英夫、以下「中京銀行」）は、包括的連携に関する協定を締結する運びとなりました。

協定締結にあたり、梅村学園理事長梅村清英と愛知銀行取締役頭取伊藤行記ならびに中京銀行取締役頭取小林英夫が出席のもと、3月4日（月）に協定書締結式を下記のとおり、執り行います。ぜひ取材にお越しいただけますと幸いです。

日時：2024年3月4日（月）14:00～14:30（受付開始 13時30分～）

場所：中京大学名古屋キャンパス（八事） 11号館（本部棟）8階 第一会議室

■出席者：学校法人梅村学園 理事長 梅村清英
：株式会社愛知銀行 取締役頭取 伊藤行記
：株式会社中京銀行 取締役頭取 小林英夫

■取材の申し込み：別紙2「取材連絡用紙」にご記入の上、FAX（052-835-7171）までお送りください。※お手数ですが、3/1（金）中までお願いいたします。

●協定の目的

梅村学園と愛知銀行及び中京銀行が包括的連携に関する協定のもとに、地域活性化、産業振興、相互の人材育成等の分野で協力し、地域社会の振興と発展に寄与することを目的としています。

●協定の内容

1. 地域活性化に関すること
2. 産業振興に関すること
3. 学校法人梅村学園の学生のキャリア形成に関すること
4. 学校法人梅村学園、愛知銀行及び中京銀行の人材育成に関すること
5. その他前項の目的を達成するために学校法人梅村学園、愛知銀行及び中京銀行が合意した事項

●梅村学園との連携実績について

① 中京大学経営学部との連携授業

愛知銀行は2023年度より単位認定科目「インターンシップⅠ」の実習企業として協力

2023年度、経営学部「インターンシップⅠ」（2・3年生対象）の実習を、8月22日（火）～31日（木）の期間に、愛知銀行名古屋駅前支店および栄本店にて実施しました。具体的には、銀行の役割や個人営業（資産運用提案）、法人営業（ソリューション提案）、ビジネスマナー・自己分析講座をはじめ、支店長講話や人事担当者・若手行員との座談会を行い、最終日には実習の全体総括とフィードバックを行いました。

実際に参加した学生からは、「預金・貸出・為替といった3大業務に加えて、中小企業に対し、ソリューション提案を行うことが求められていることを学び、銀行業の大きな変化とイメージの違いを感じることができた」「行員の方々との座談会があり、そこで行員同士の人間関係などを直に感じることもできた。この経験は、このインターンシップを通してしか得ることができないものだと思った」など、非常に良い経験となった旨のフィードバックが寄せられています。



② 「中京大学×名古屋港水族館×あいちフィナンシャルグループ」産学連携企画

中京大学経営学部中村雅章教授のゼミによる名古屋港水族館の来場者分析を計画

あいちフィナンシャルグループ（愛知銀行と中京銀行）の橋渡しにより、名古屋港水族館と中京大学経営学部中村雅章教授のゼミにて、産学連携企画を進めており、2024年4月から中村ゼミによる調査がスタートする予定です。具体的には、名古屋港水族館における訪日外国人観光客の来場目的分析や年間の来場者の属性分析を中村ゼミが行います。

中村ゼミによるマーケティングの手法を用いた提言により、名古屋港水族館がより一層魅力のある観光施設づくりを目指す上での大きな効果がもたらされることが期待されます。

●お問い合わせ先

学校法人梅村学園中京大学 広報部広報課

電話番号：052-835-7135（平日9時～17時／直通）

メールアドレス：kouhou@ml.chukyo-u.ac.jp